

始良・伊佐 NO.8 (05.9) 「九条の会」ニュース

発行 / 「九条の会」アピールに賛同する始良・伊佐の会

事務局 / 立山征男 〒899-5115 隼人町東郷561-5 TEL 090-5737-8733

毎回、会報・ニュースを発行していきます。

メール原稿は、kmori@po.synapse.ne.jp へ直接、届けてください。(編集担当)

豊田直巳 「子どもたちが生きる世界はいま ーイラク・パレスチナ・アチェからの報告」

9月18日(日) 鹿児島市の教育会館にて、フォト・ジャーナリストの豊田直巳さん
「日本の自衛隊による『国際貢献』活動の実態は何であり、今後、いかなる展開をとるか?!」を語る。

<(インドネシア)アチェ>

大津波で破壊された町並み跡に出現したのは、60 数年間に旧日本軍が構築した頑丈なトーチカの姿であった。戦争にどれほど莫大な費用をかけたかを示す。天然資源のあるアチェの独立運動を敵視してきたインドネシアの国軍兵士はアチェ住民にも憎悪をもち、「もっと死ねばよかった」と公言する。

災害救援もおざなりなものとなった。なぜ被災地に武器が必要か、韓国や欧州、日本の NGO のいずれもが丸腰で災害発生の数日後には現地で活動を広げた。医療・消防・土木などのスタッフが入ればよいのであって軍隊である自衛隊が出ていく必要はない。日本はそうした人材を多くもっている。

<パレスチナ>

イスラエル軍がガザ地区からは撤退したシャロン政権と米国は、パレスチナ側も武力抵抗をやめよと言うが、西岸地区全体には 10 メートルも高さのあるコンクリート壁が 500 キロ以上に延びている。壁に閉じ込められたパレスチナ住民の生活はいっそう困難になった。イスラエル軍がパレスチナ側ゲリラを利用しているとの名目にシリア・ゴラン高原に武力侵攻し、国連はイスラエルへの撤退勧告を繰り返し決議した。

しかし、イスラエルは応じず、シリア・ゴラン高原に国連の平和監視活動 (UNDOF) として日本の自衛隊も派遣された。日本の国内世論は平和維持との言葉から少しは良いことをしていると思いがちだが、イスラエル軍による占領地拡大をとめようとする米国につながる日本政府との印象はぬぐえない。それでも自衛隊のイラク派兵までは、ヒロシマ、ナガサキで被爆した日本人ということでイスラムの中東地域でも日本への視線は穏やかだった。

アチェの旧日本軍のトーチカ



パレスチナの高い壁



人質となった高遠菜穂子さんたち3人が、生還できたのも日本への期待があったからだ。しかし、それを壊したのが、小泉首相による自衛隊のイラク派遣だ。

<イラク>

劣化ウラン弾が1991年湾岸戦争で300トン、イラク戦争で500トン使われた。微粒子となったウランは46億年ともいう年限で地上に残り、大気や水、食物を通して人体に入り、白血病や先天性疾患で蝕み続ける。紙一枚、5センチほどしかアルファ線は届かないから危険はないとの態度を米軍や自衛隊はとっているが、イラクで急増する子どもの白血病や退役米軍兵士の子どもに現れた先天性の疾患は、湾岸戦争以来の劣化ウラン弾がもたらしたものと誰もが気づいている。自衛隊のイラク派遣が北海道・旭川から九州・熊本の師団まで続いてきた。自衛隊員の胸元の放射能シールでは劣化ウランの微粒子は測定できない。

イラクでの給水活動などは、フランスのNGOが現地のイラク人スタッフを通じてとうに着手していたことだ。電力とポンプが修復されれば、都市近郊の上水道設備は稼働する。

農林部では以前から給水タンク車があり、日本の資金も送られ、自衛隊の派遣以前から27台も活動していた。街中のオランダ軍や英軍が占領地維持で、これと併進する自衛隊のみが人道支援活動とイラクの現地の人々には映るだろうか。サマワでの自衛隊歓迎の横断幕は実際には、某ニュース社のジャーナリストが書いたものだ。米軍やこれに連なるメディアは、イラク人々が訴えていることを報道しない。

精密誘導兵器で軍事施設のみを攻撃したというが、500メートル四方の人間を殺戮するクラスター爆弾でどれほどの市民が「誤爆」されたか。武装勢力とみなされてどれほどの市民が殺害、不当に拘留されたか。メディアは追えていない。そもそも、軍隊は軍隊しか守らないことを肝に銘じるべきだ。それは、日本人が経験したことでもあるはずだ。柳条湖事件を起こした9月18日という「加害の日」に記念集会を開いた意義は大きい。

(主催は鹿児島県教職員組合・高等学校教職員組合)

オランダ軍や英軍と併進する自衛隊装甲車



10月の平和企画

「歴史に学び歴史に学ぶ県民の集い」

とき 2005年10月9日(日) 13:00~

ところ 県歴史資料センター

黎明館2F・講堂

講演 「南京事件の実相と今後の日中友好」(仮)

講師 朱成山(中国・侵華日軍南京大屠殺遭難同胞記念館長)

資料代 500円(高校生以下 無料)

主催 「10・9 県民の集い」実行委員会

ドキュメンタリー映画「Little Birds ~イラク戦火の家族たち」上映と綿井健陽監督講演の集い

とき 2005年10月22日(土) 18:00~開演

ところ 国分シビックセンター「多目的ホール」

「Little Birds ~イラク戦火の家族たち」上映

綿井健陽監督「Little Birds」とは? ~鳥の鳴き声、僕らの鳴き声 を語る!

僕たちと同じ人間が、同じようにイラクで暮らしている。彼らと僕らにはさほど違いはない。人間の生活や普段話している会話、表情、笑い声、泣き声、怒り、悲しみ...

入場前売り券 1000円(当日1300円)

主催:「九条の会」始良伊佐の会